

高校39回生での意見・アイデア招請結果（facebook グループ）

○「100周年記念神撫台杯将棋トーナメントの開催」

『在校生、卒業生の参加で将棋トーナメントを開催。優勝者にトロフィーを贈呈する』

○「記念植樹」

100周年を記念してキャンパス内への「記念植樹」を提案します。次の200周年に向けて大きく育てて欲しいとの想いも込めて、みなさんから樹の愛称も募集して大切に育てていくとよいでしょう。

○在校生の保護者として、卒業生として

現在、子供が長田高校に通学しています。その観点も含め以下を提言します。

1. 建物を作るのであれば、現行校舎の問題点を補完するものを。

現行校舎は色々使い勝手が悪い面もあるそうです。

今回の案でも出ている点は一定の理解はできます。

確かに、夏休みの補習も普段部室に使っている場所を無理やり使ったりしていると聞いています。

また、校舎の向きが変わったことで近隣住民と騒音問題が起こっており、吹奏楽部は夏休みも防音カーテンを締め切った中で練習、時間も決められていて半日も吹けないとも聞いています。

しかし、それもその会館建設で本当に解決されるのか、他に優先して解決すべき問題はないか、現状の学校現場からのニーズをしっかりと把握した上で、今後後輩たちが本気で使えるものにすべきと考えます。

例えば、現行校舎にリノベーションを施す施策に寄付金を用いる案との徹底比較（省電力型冷房設備の整備、一部教室で可動式壁を導入し、教室容積を機動的に変更し多目的に使えるようにするなど）した上で、それでも新しい建物の追加が望ましいと結論を出すなど。敷地候補場所については、授業利用や部活動利用を想定した場合、生徒たちが利用しやすい「活動導線」になっているかについても考慮が必要です。

こうした検証は時間も労力も要しますが、建物は、その後、長期にわたり、運用・維持が課せられるものなので慎重な検討が必要と考えます。

なお、同窓会利用の場合、キャンパス内への大人の立ち入りが増えますが、セキュリティ面（生徒が安心して学べる環境維持が第一優先）も考慮が必要と考えます。

2. 建設目的の一貫性について

当初の「同窓会館」というコンセプトが、経緯もあり、学内建設、生徒が使用主体…と変容し

てき たにもかかわらず、学校主体の「校舎」としての存在になっておらず、中途半端な印象。どちらかに振りきるべき。

OB が使うものではなく母校への支援、という線でいくなら、もっと学校がよくなるよう、学校側から現在の問題点を洗い出して、さらけだして、OB に、保護者に、訴えてほしい。本当の改善にお金を使ってほしい。

最終的に学内に建てる、をやめられないのなら、同窓会会館の頭はもう捨てて、今後後輩たちが本気で使えるものにすべきかと。それが無理ならやめるべきかなと。（すでに寄付をいただいた人には、十分に意を尽くして説明して理解を得る「勇気」も必要では）

3. 「現役世代に聞いてみよう、面白がろう、長田が好きなお祭りにしよう」

今も長田の生徒たちはアホなことにも全力投球で楽しんでますが、時代の背景か、昔よりプレゼン上手です。

例えば、百周年記念事業、現役生&卒業○年以内チームによる「ぶっちゃけ学校どうしたらええと思うコンペ」。神撫会主催で OB 企業からどーんと賞品とか参加賞とか募って。しょーもないのも受け狙いのも含めて、やんやと楽しませてもらえたら、そのなかに素晴らしいものがあるかも。結果、実現できるプランがなくても、交流できれば立派なイベントでは。

4. 奨学 金基金はぜひ継続を

運用は大変だと思いますが、継続が望ましい。

○記念事業のアイデア

- ・奨学金の設立（経済的困難者・海外留学希望者対象）
- ・同窓生をもっと有機的につなぐための何か（すみません、具体的でなくて。。。同窓会 HP 充実とかかな？）

です。そもそも、何のために 100 周年を祝うのか？単に今まで長い歴史があってよかったね、ではなく、これからの 100 年、さらによい教育を、長田生らしい卒業生を生み続けていきましょう、ということですよね。これからの 100 年なら、ハードよりソフトが大事であって、会館を作って、そこに行かなければ享受できないようなものにお金を使うのではなくて、長田生が社会で羽ばたいていけるような、そして社会に出た長田生がもっとネットワークを密にして協力し合えるような、そんな事業にしてほしいと思っています。

○使用イメージを明確にし、それに合った「器」を

私は 100 周年記念事業のアイディアは思いつかないので、記念会館は作るという前提として考えてみました。

やはり皆さんがおっしゃるように会館を作ることありきで目的がボヤけていると感じました。学

校の敷地内に作る今のプランでは誰にとっても中途半端なものになってしまいそうです。
立派な建物を建てるのが目的ではなく、どんな使い方をするか。(既に歴史ある建物があるわけですし)
駅前で地域にも貢献できる施設にし、会員になれば貸し会議室を利用できる。
同窓会等の利用以外で…。
昼間はカルチャースクール、
また神戸市のシルバーカレッジのように高齢者向けのスクールのようなもの。
講師はOBOGのボランティア。
また在校生の自習室としての利用と卒業した大学生等が教える個別指導など。
アナログですが、リサイクルライブラリー(不要な本、参考書等を持ち寄り好きに持って帰れる)
起業家や自営の方などの交流の場に。
弁護士や福祉関係等、全く知り合いや知識がなくても相談にのってもらえる場に。
在校生の進路指導。
近くの店や会社と提携して地域の活性化に繋げる。(飲食店とケータリングサービス、管理会社に清掃依頼等)
スペースの稼働率を上げ、少額の利用料をとり、OBOGからは少額からの寄付を募る。明確な目的のための寄付で少額ならもっと集まると思います。
今の記念会館プランでは、利用する機会のない人が9割以上でしょうね。そんな事業に寄付をする気にはなれないのではないのでしょうか？
駅近なら空き時間を作って寄ることもできるし、寄ってみたいくなるイベントがあれば寄付もすると思います。
維持管理全てを利用料と定期的な寄付で賄うにはどんなことをすればよいかもっとアイデアを出すべきだと思います。

私は不動産業界で仕事をしてきて、現在は建設会社に勤めていますが、まず建設費が高い！と感じました。立派なハコモノを建てるのが目的になってる予算かと推測します。
もし1億5000万円の予算があるなら、駅近の便利な場所にシンプルな建物を建てることのできるのではと考えます。長田の駅近で60坪ほどの土地を購入、建ぺい率60%容積率300%ぐらいの土地なら、延べ床面積400平米ほどの建物が建てられます。坪単価80万円ぐらいで建築可能かと思います。また収益ビルを買い取りフルリノベーションもありかと思います。(例えば築40年のRCの建物が坪単価20万円ほどで配管まで変えるフルリノベができます)
いっそ賃貸で古い建物をフルリノベすれば費用も抑えられ、いずれ初期投資の大半が回収できるような収支計画も立てられるのではないのでしょうか。
このようなことは今までの同窓会館を作るという議論の中で既に出尽くしていることかもしれませんが…、思い切って投稿してみました！

○「大人の修学旅行」

『同窓生による一泊二日のバスツアーを企画募集。旅行会社とのタイアップで、ぶっちゃけ団体バスツアーそのものなのだが、「修学旅行」的な要素を演出。手作りの「旅のしおり」や「お菓子は一人 300 円まで」や、「消灯時刻を過ぎて騒いでいる部屋はお仕置きで廊下で正座」など、佳き日の修学旅行を想起して楽しめる内容にする。なお、ツアー代金の一部を寄付金に充てる。』

○会館建設に対しての意見

まず、意見として神撫会拠点を必要とする目的をはっきりさせた方がいいと思います。

拠点として、同窓会開催場所には規模が不足しており、考えるに各種資料保存・展示を行う所になると思われます。であれば、現在の神撫会館の改修で済むのではないかと考える次第です。また、誰のためという根源的な点を明確にしたほうが良いと思います。飽くまでも OB/OG のためのものであって、在校生活用は後付でしかないと思います。もし、在校生のたを OB/OG と対等と考えるのであれば、PTA や在校生の意見を尊重すべきで、ステップにその機会を設けるべきでしょう。

次に、事業性についてですが、永続性で考えると建造物は耐用年数があるため長くて 50 年ぐらいしか先が見通せないのではないのでしょうか。これでも十分かもしれませんが、最若手の OB/OG が歳を取った時に修繕や改修の負担を強いることになる可能性があります。加えて、現在の 4 代目(?)の校舎建て替えのように、建屋配置が変わる可能性があり、その際の足かせにもなりかねないと思われます。

更に、施工業者選定ステップが気になります。競争入札を行うのでしょうか？指定入札なのでしょうか？品質評価はどなたが行うのでしょうか？OB/OG の善意で調整・手配を行うと思われすが、クリーンで透明性の高い手続きの実現性にやや不安を感じます。ストップをかける権限は OB/OG の投票で決定でしょうか？これは意思決定スピードに欠けるということで、代議制で決定ということでしょうか？声の大きな方に流されない、真の意見集約を望みます。

最後に、個人的には、OG/OB が振り返って誇れる永続性のある事業が良いと思います。

例えば、植樹であれば校庭の一番片隅のみを占拠するとともに、代々の在校生の憩いの場所として末永く親しまれるのではないかと思います。つまり、在校生と OB/OG をむすぶ架け橋に十二分になると思われます。また、総費用も現在の寄附金額で十分に賄うことが可能と思われます。加えて、万が一移設が必要になった場合でも、比較的低費用で対応可能になると思います。あまつさえ、枯れてしまった場合でも株分けや種子で次世代を残すことができるかと思ひます。

あるいは、在校生への貢献を第一に掲げるのであれば、奨学金制度の設立でしょう。これからの時代は少子化に伴う大学全入時代になるかも知れませんが、金銭的な制限で進学を諦めるケースは少ないかもしれません。しかし、それ以外でも例えばグローバリズムの到来は避けて通れないことから、留学支援という方法はあると思います。高校在学中を対象としない奨学金制度があっても良いかと思ひます。

○「新しい建物より、既存資産の手入れを」

『集まった寄付金で新しい建物を建てるより、今の校舎の修繕や備品を充実させるために 寄付金を使ってはどうか。現校舎も築後 20 年を経過して、いろいろ手当をしたいけど、 予算が限られ我慢して使っている点もあるだろう。本当の意味で教育環境が充実することに寄付金を使って欲しい。』

○「ホームページによる情報発信の充実化」

『ホームページのリニューアルを行い、現在『神撫台』誌で発信している情報を原則 WEB に移行する。実現には資金、一時体力が必要なので周年事業として実施してはいかが。これにより、年間 350 万円かかっている会報誌印刷、発送費用の削減が見込める。なお、 高齢の方で紙媒体を要望される方には HP を印刷して送付する策も考える（年会費納入者に限定してはどうか）。』

○目的はごっちゃんにせんほうがええ

近隣有力校に立派な同窓会館があると聞くと、我が三中・長田高校には「神撫会館」がある。

「愛校心を醸成できるもの」といった象徴的なものを求めるならシンボルは二つあってはならない。

国歌・国旗が二つある国はない。

「学校のニーズに合ったもの」については、他の人が発言している通り、現行校舎の機能改善・強化に寄付金を使うべきだ。後世に余計な維持費負担を残すべきではない。

「同窓生が集って同窓活動が出来るもの」については、便利がいいところに賃貸で借りるべきだ。固定費がかかるというが、卒業生（およびその関係者）の中に、「原価償却済の古い賃貸物件を実費で貸していいよ」という人はいないだろうか。空き家問題が全国的に問題になっているので、先入観を捨てて同級生から情報を集めたらいい。たとえば思いつきのアイデアやけど、商店街とタイアップして空きテナントの場所で上手にコミュニティスペースとして運営したら、ユニークな取り組みとして全国に情報発信できる。そういうのやったら「何かオモロそう」なんで自分も行ってみたい。祝日イベントで屋台出すんやったら、「たこ焼きのおっちゃん」やってもええで。要するに、お酒も建物も「ちゃんぽん」は不味いということやで。多目的は無目的。和菓子と洋菓子里に中華菓子、いっぺんに食べたらゲップ出る。別々に食べようや。

いずれにしても今は 21 世紀で、22 世紀も視野に入れた 100 周年事業を行うなら、時代性を踏まえるべきだ。本格的な人口減少社会を迎える今、維持負担のある自己所有資産は極力減らし、モノは共有して使い環境にも配慮しないと生き延びていけない。ハコモノ作ってキャパシティ増やしてという高度経済成長時代的な発想は時代錯誤だ。一過性の事にお金を使うならまだしも、後世の若い後輩たちの負担や足枷になるかもしれない「置き土産」を残すようなことは止めていただきたい。